

(訟ろ-01)

令和2年1月15日

高等裁判所事務局長 殿

地方裁判所事務局長 殿

最高裁判所事務総局総務局第三課長 定 久 朋 宏

「「裁判事務支援システムを利用した刑事事件の事務処理の運用について」の概要」の送付について（事務連絡）

この度、本日付け最高裁総三第5号総務局長通達「裁判事務支援システムを利用した刑事事件の事務処理の運用について」が発出されました。この通達の参考資料として、「「裁判事務支援システムを利用した刑事事件の事務処理の運用について」の概要」を送付しますので、関係職員に配布して執務の参考にするようお取り計らいください。

なお、簡易裁判所に対しては、所管の地方裁判所から連絡してください。

(令和2. 1. 15総三)

「裁判事務支援システムを利用した刑事事件の事務処理の運用について」の概要

第1 趣旨

裁判事務支援システムの導入に伴い、導入庁においては、従前と異なる事務処理を行うこととなることから、次の1から5までの通達の定めと異なる取扱いができるよう定めを整備した。

- 1 [REDACTED]
[REDACTED] (以下 [REDACTED] という。)
- 2 [REDACTED]
[REDACTED] (以下 [REDACTED] という。)
- 3 [REDACTED]
[REDACTED] (以下 [REDACTED] という。)
- 4 [REDACTED]
[REDACTED] (以下 [REDACTED]
[REDACTED] という。)
- 5 平成7年3月24日付け最高裁総三第14号総務局長通達「事件記録の保管及び送付に関する事務の取扱いについて」(以下「保管送付通達」という。)

第2 主な内容

1 受付及び分配等(記第1)

(1) [REDACTED]に掲げる事件の受付は、[REDACTED]に代えて、裁判事務支援システムのサーバー(裁判事務支援システムを構成する機器のうち、磁気情報を集中的に管理して処理するコンピュータをいう。)の記憶装置(以下「サーバー」という。)に所要の事項を記録する方法により行うこととした。

なお、[REDACTED]については、[REDACTED]

で取扱いが分かれるところ、その場合の [REDACTED] の用い方については、[REDACTED]
[REDACTED] を参照する。

(2) 記録編成後、裁判事務の分配の定めに従って事件記録を他部署に交付した場合には、別に作成する事件記録等授受簿に受領印を受けることとし、事件記録等授受簿の保存期間を5年とすることとした。

なお、事件記録等授受簿は事件関係の帳簿諸票であるため、その保存及び廃棄の取扱いは、帳簿諸票通達及び帳簿諸票取扱通達の各定めによることとなる。

2 [REDACTED] の備付け等（記第2）

(1) [REDACTED]

[REDACTED] は、[REDACTED] により備付けが、[REDACTED] 及び [REDACTED]
[REDACTED] により記載事項が、それぞれ定められているところ、[REDACTED]
[REDACTED] に掲げる事件に関する [REDACTED] をサーバーに記録することとしたものについては、その備付けは要しないこととした。

(2) [REDACTED]

[REDACTED] は、[REDACTED] により備付けが、[REDACTED] により記載事項が、それぞれ定められているところ、[REDACTED] を記載した書面を裁判事務支援システムから出力したデータを用いて印刷した場合においては、これに [REDACTED] に受けるべき受領印を受け、受領印を受けた書面については、司法年度ごとに編冊を作成し、この編冊を [REDACTED] とみなすこととした。

(3) [REDACTED]

[REDACTED] は、[REDACTED] により備付けが定められているところ、その備付けは、サーバーに [REDACTED] を記録する方法によることとした。また、上訴、移送、回付、確定記録の原審への返還等により、[REDACTED] を事件記録とともに他の裁判所へ送付すべき場合には、裁判事務支援システムから出力した

データを用いて印刷した上、送付することとした。

なお、上訴等に伴い [REDACTED] を印刷した場合は、当該印刷した [REDACTED] (以下「紙の [REDACTED]」という。) が正式帳票となるところ、控訴審及び移送等により事件の送付を受けた裁判所における [REDACTED] の備付けについては、送付を受けた紙の [REDACTED] を備え置くほか、 [REDACTED] [REDACTED] 及び [REDACTED] のみをサーバーに記録すれば足りる。

また、紙の [REDACTED] の保存の取扱いは、 [REDACTED] の定めによることとなる。

3 事件記録の保存及び廃棄に関する帳簿の記載（記第3）

事件記録の保存及び廃棄に関しては、 [REDACTED] の [REDACTED] に代えて、 [REDACTED] をサーバーに記録することとした。

4 事件記録の保管（記第4）

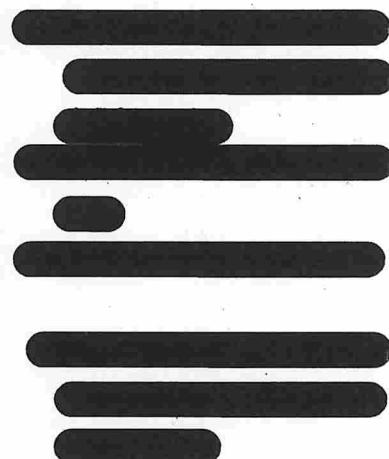
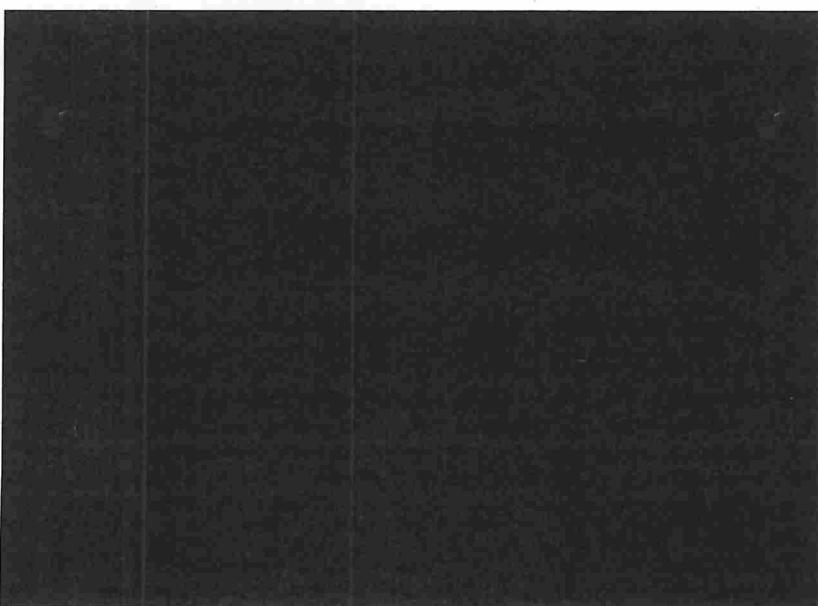
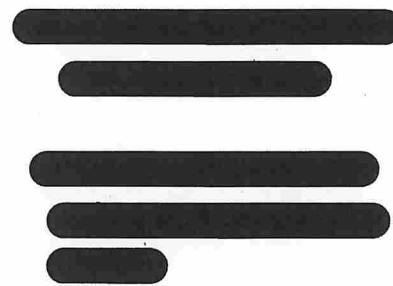
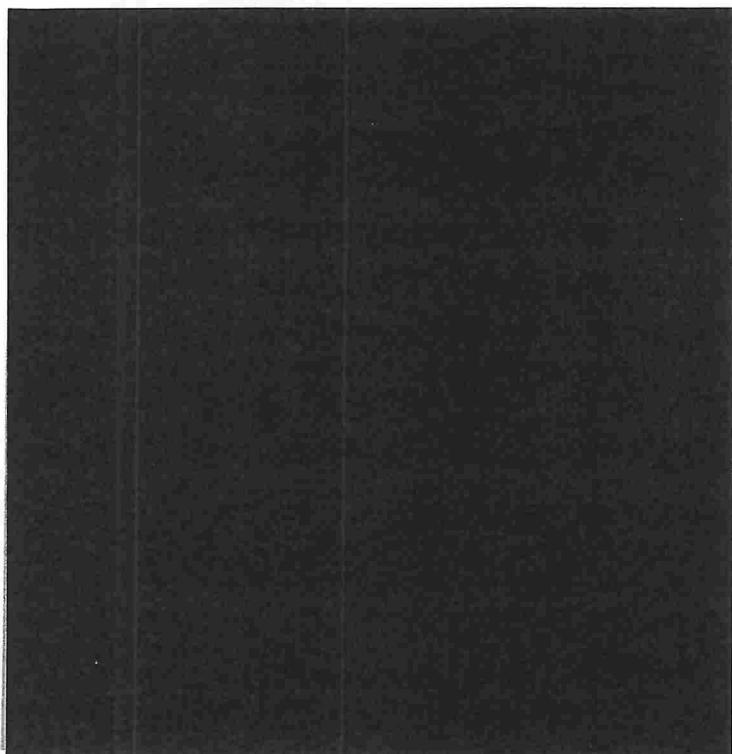
主任書記官等は、保管中の事件記録に関して所定の時期に [REDACTED] その他の帳簿諸票との対照調査を行うところ、事件記録とサーバーに記録された内容及び帳簿諸票とを対照することとした。

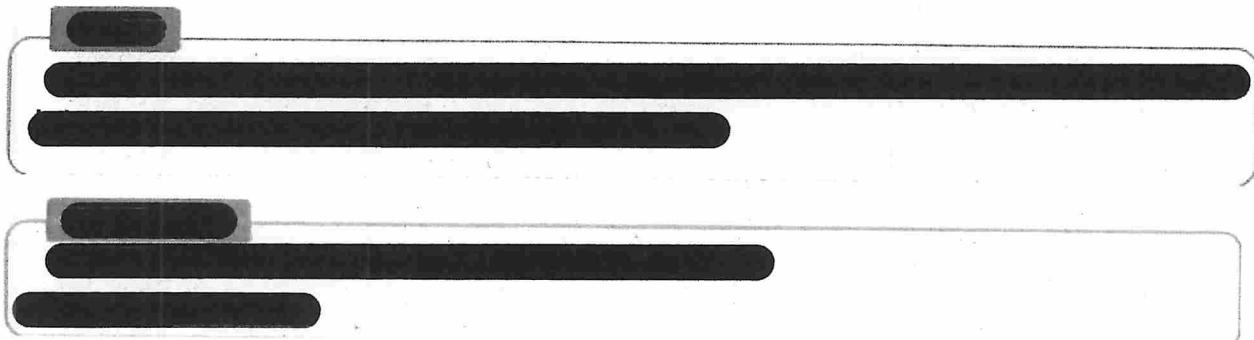
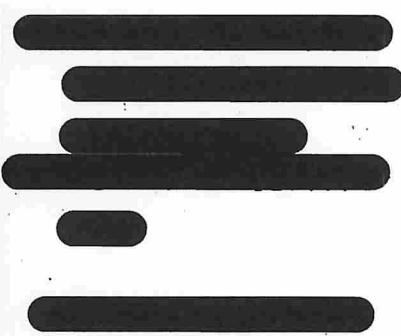
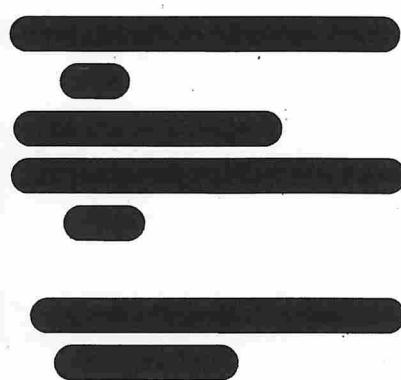
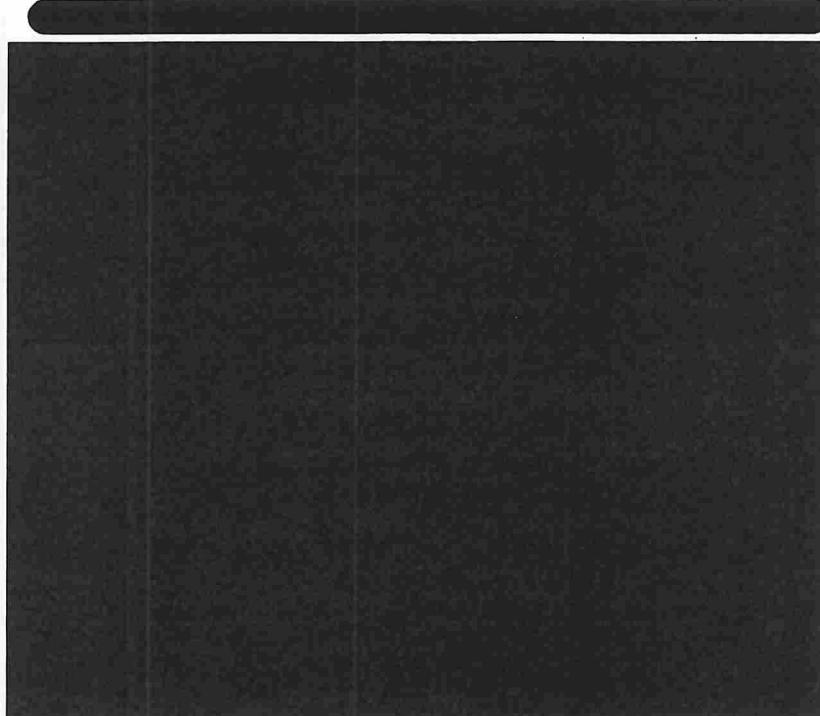
(別表)

	事 件 の 種 類	記 録 符 号
関係		
1		
2		
3		
4		
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		
(14)		
(15)		
(16)		
(17)		
(18)		
(19)		
(20)		
(21)		
(22)		

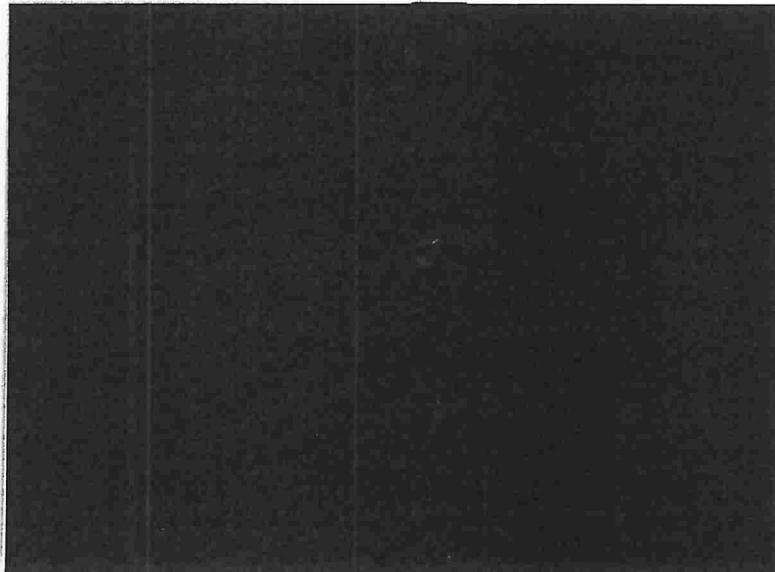
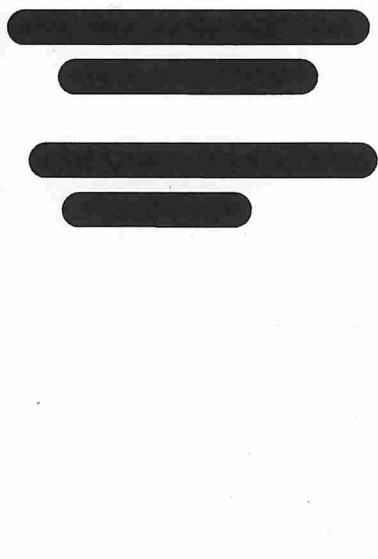
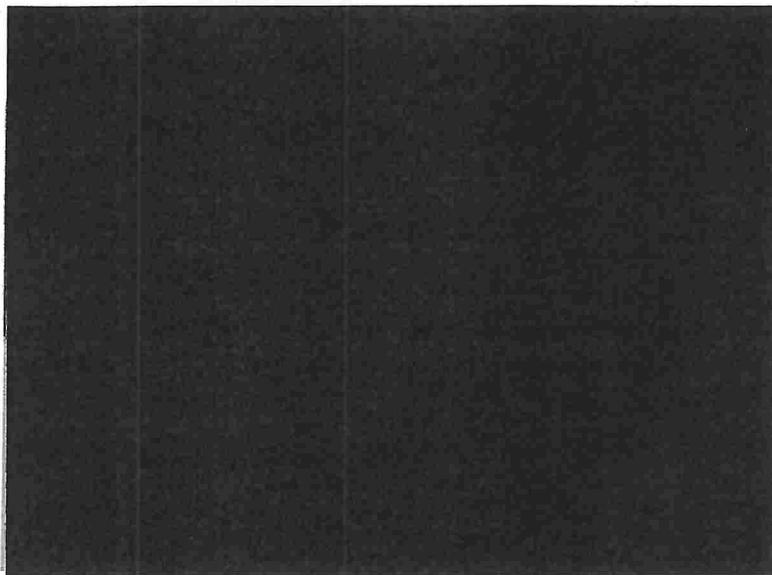
(23)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(24)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(25)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(26)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(27)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(28)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(29)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(30)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
(31)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

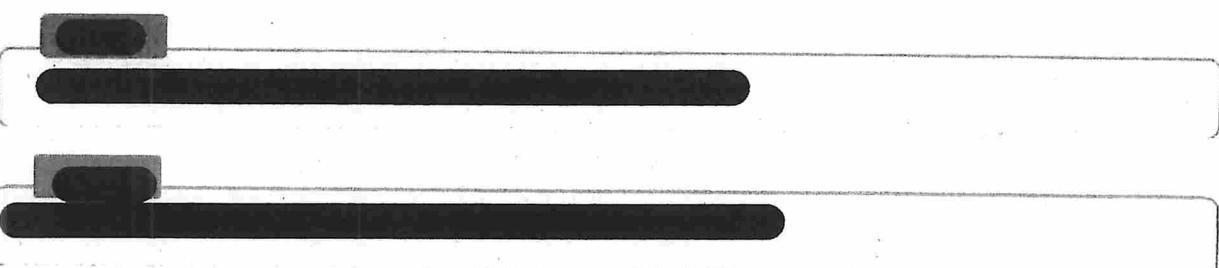
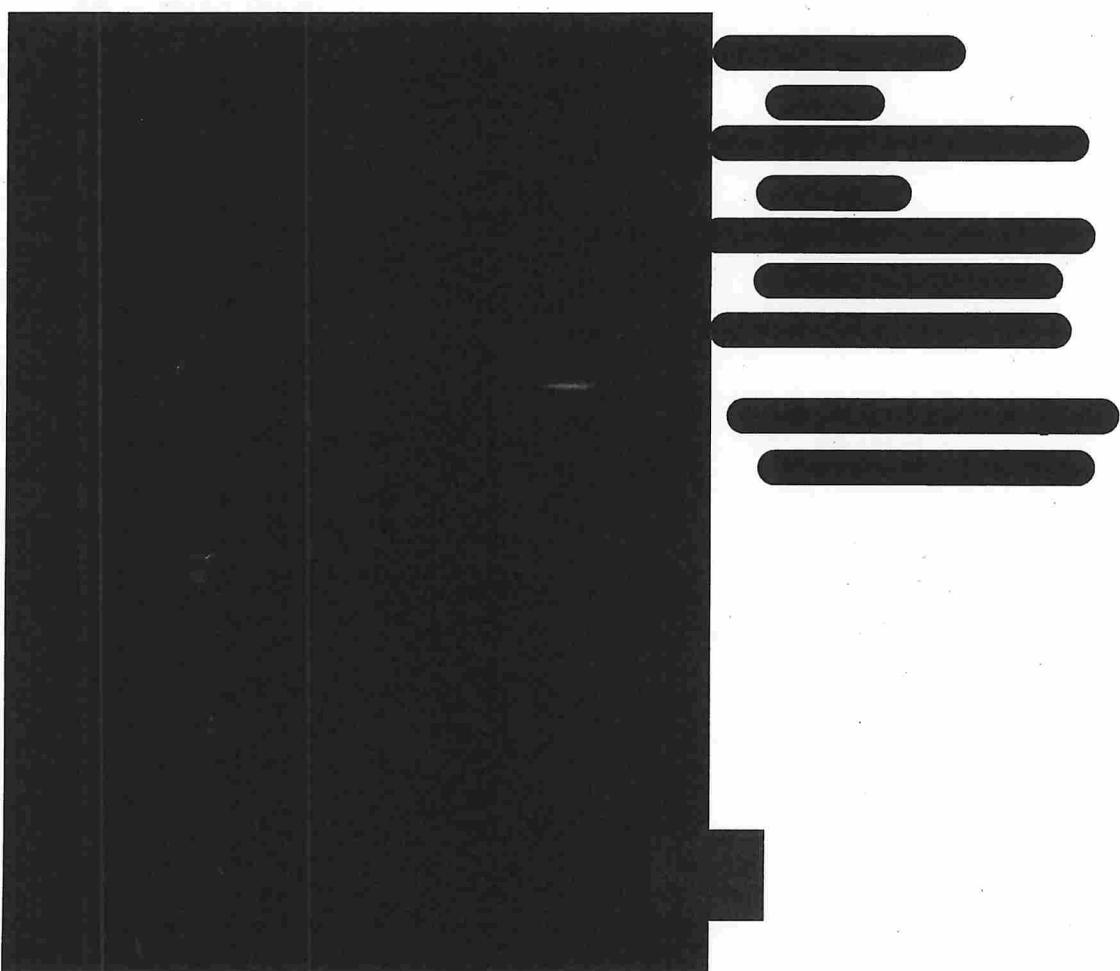
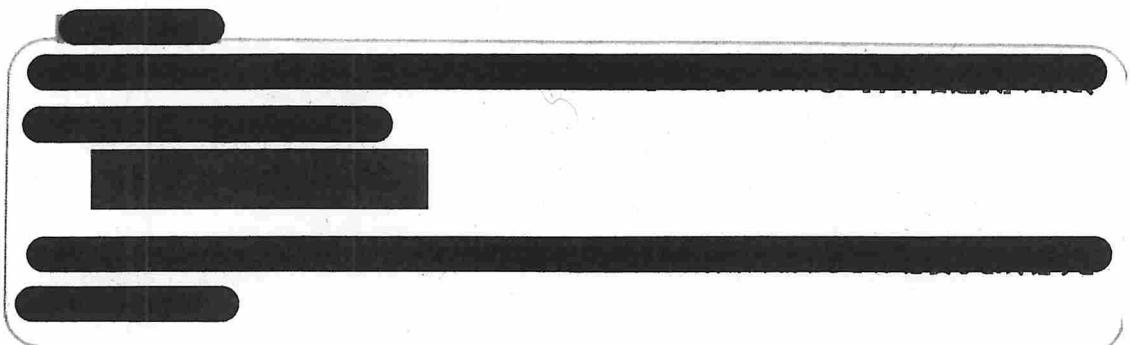
その他の [REDACTED] の入力

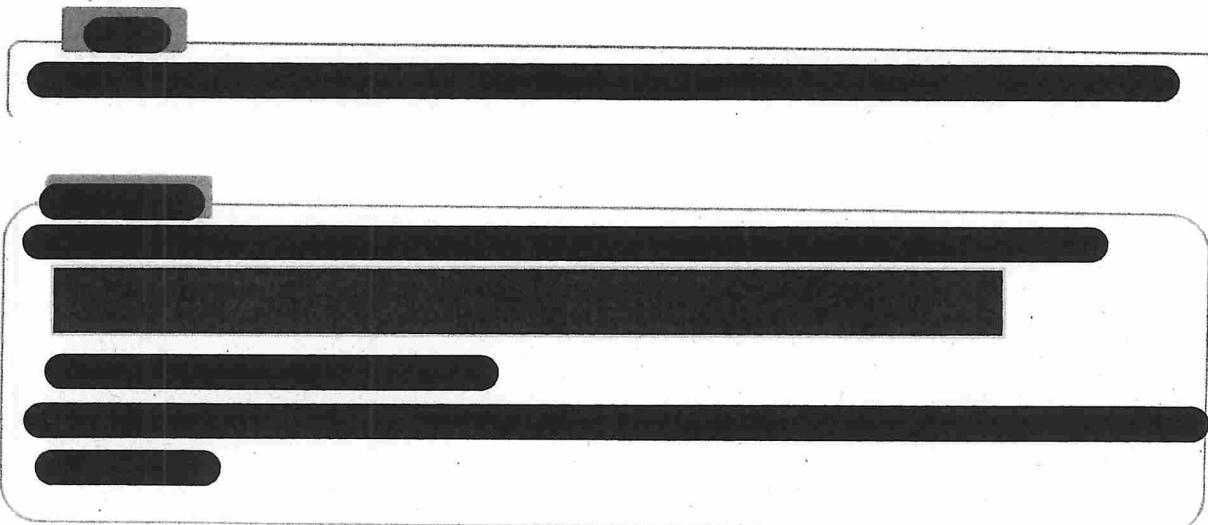
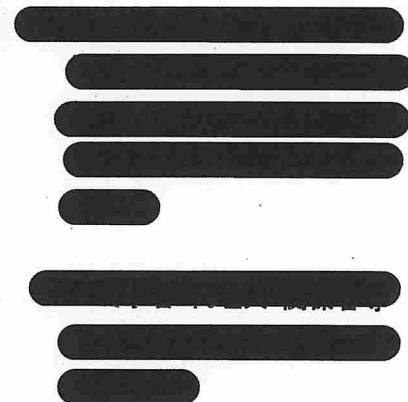
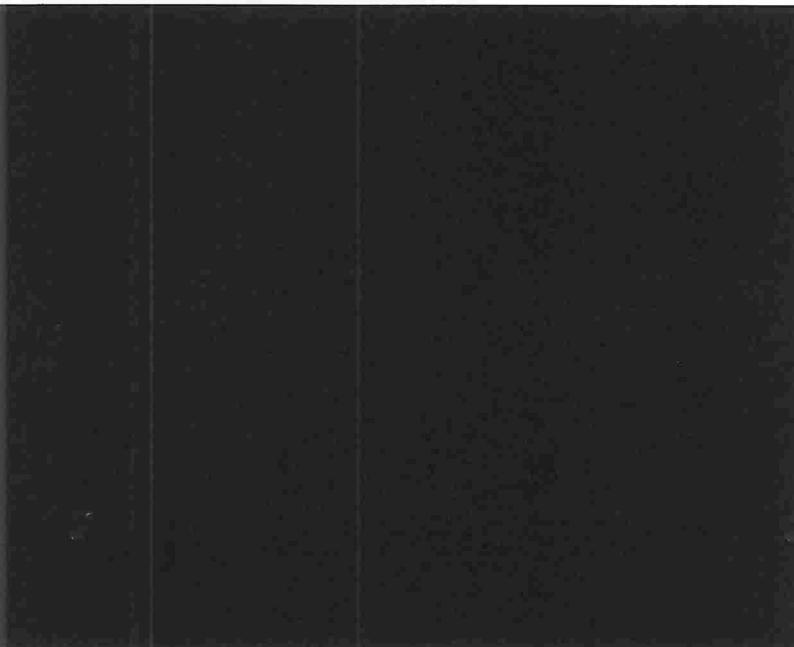
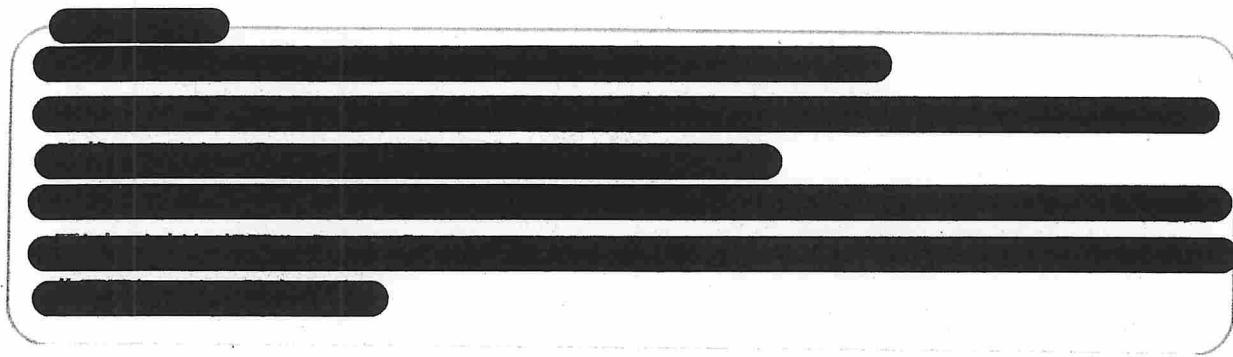


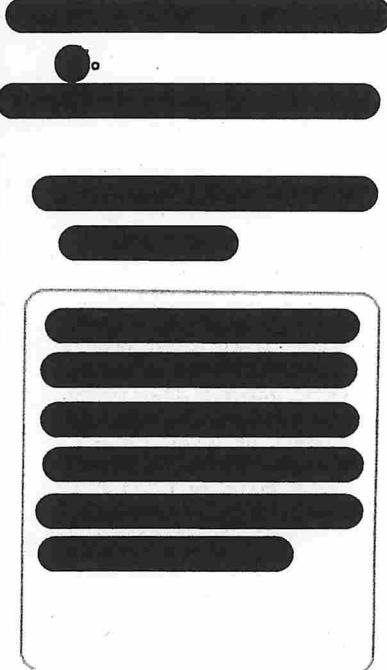
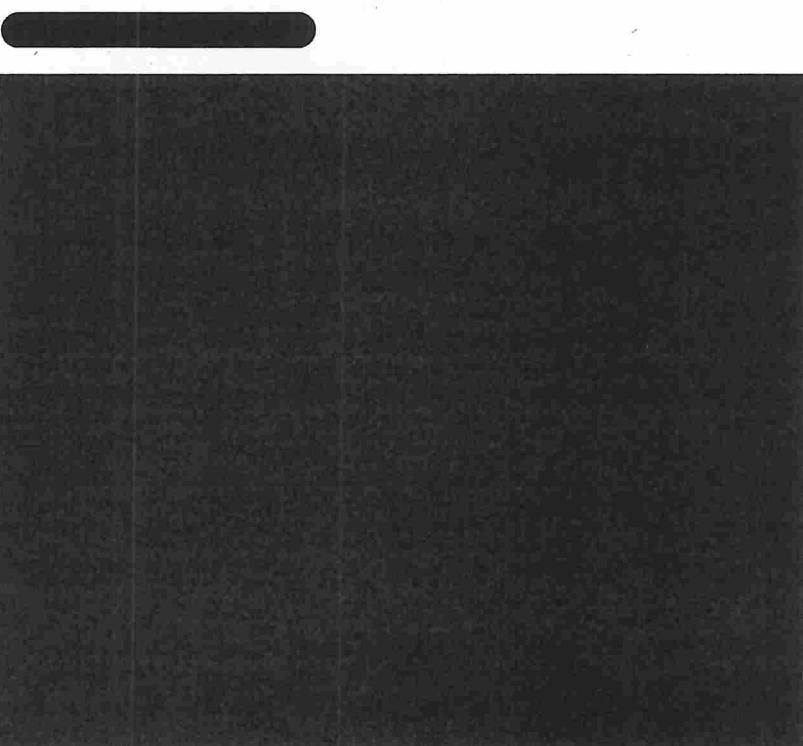
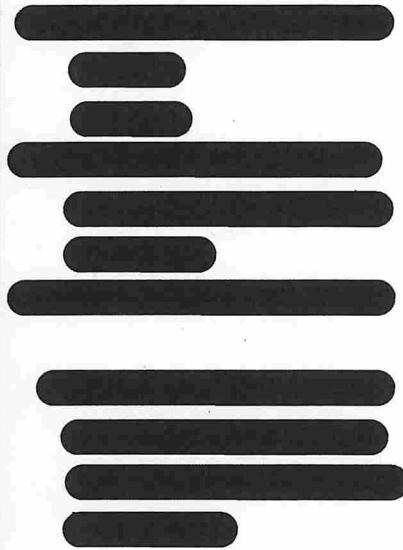
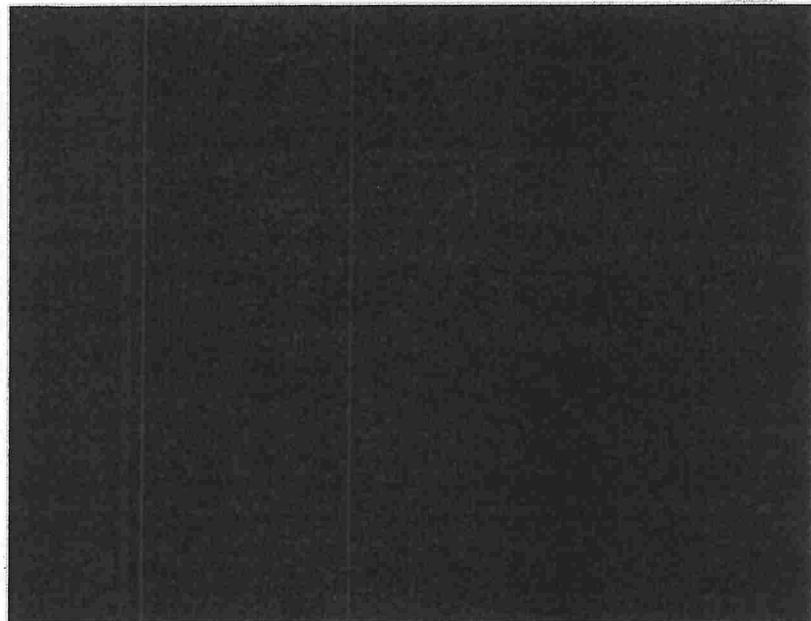


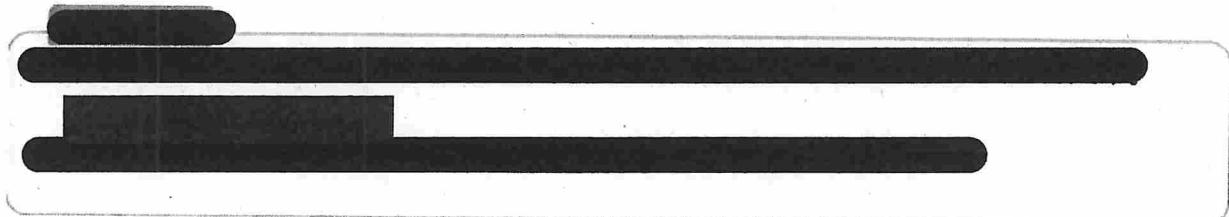
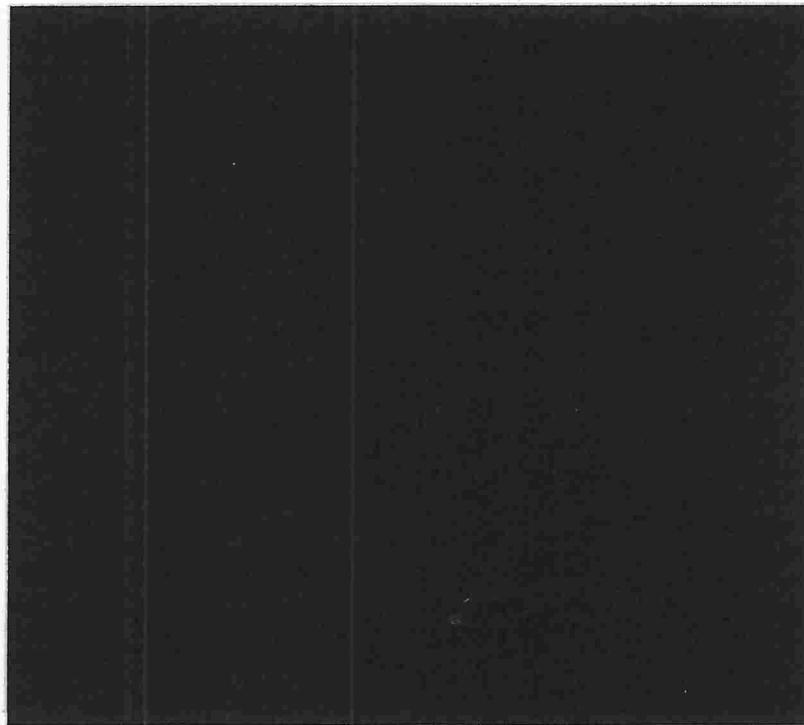
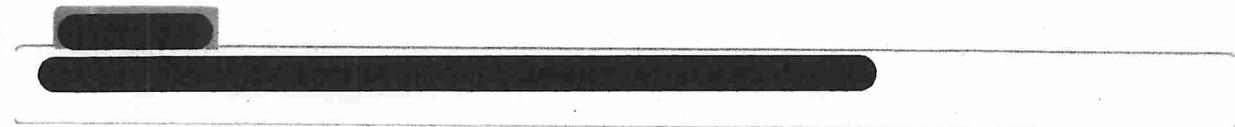
事件情報の入力・事件番号の







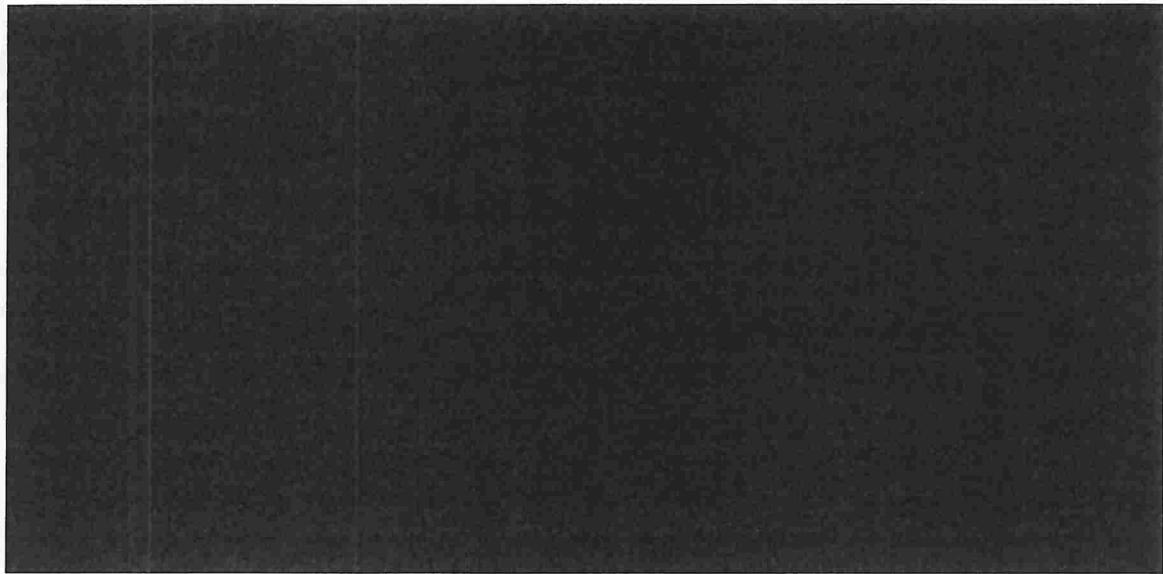


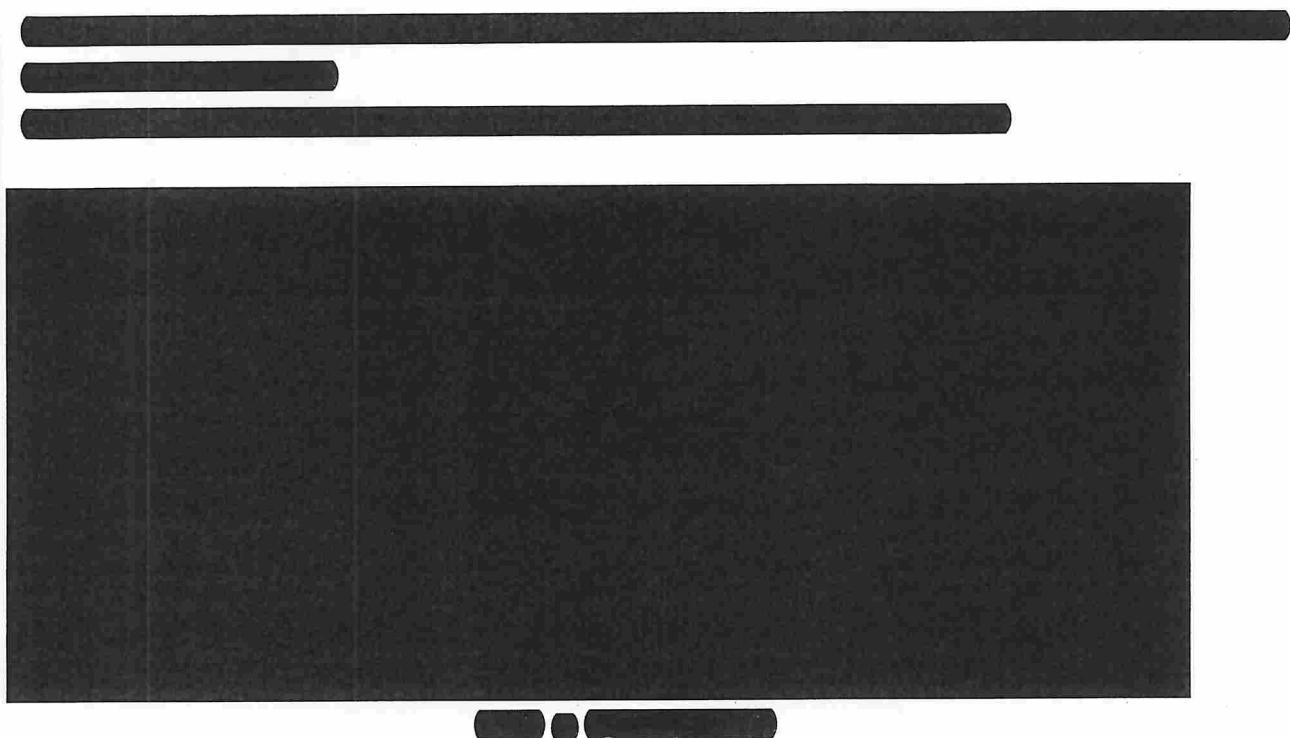


1 控訴事件を新規立件する

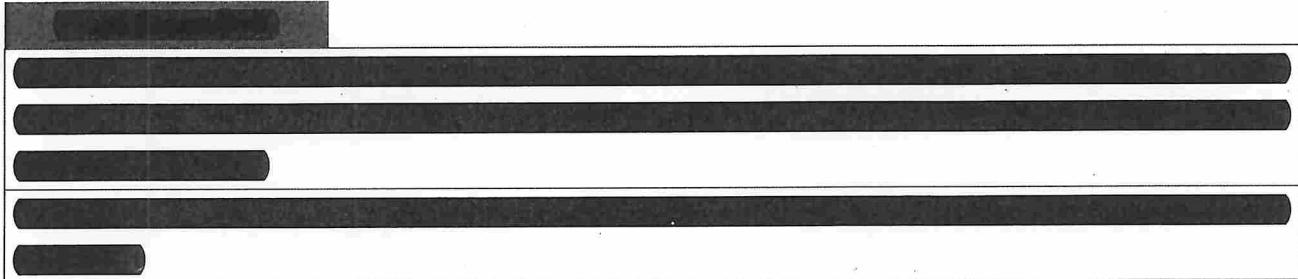
- ・本章では、控訴事件を新規立件するフローを説明します。

1-1 事件の情報を入力する

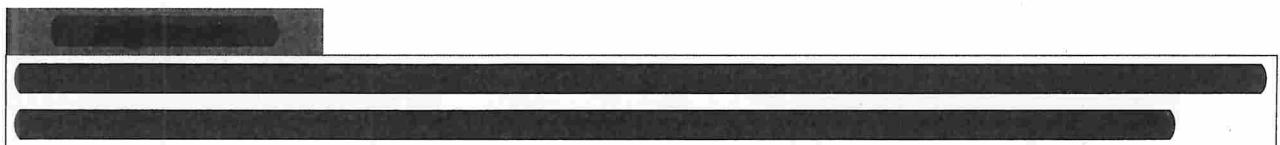
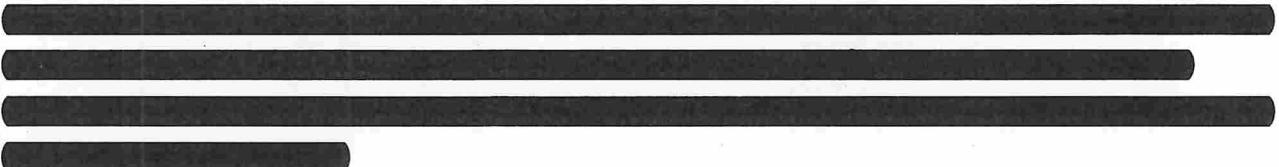
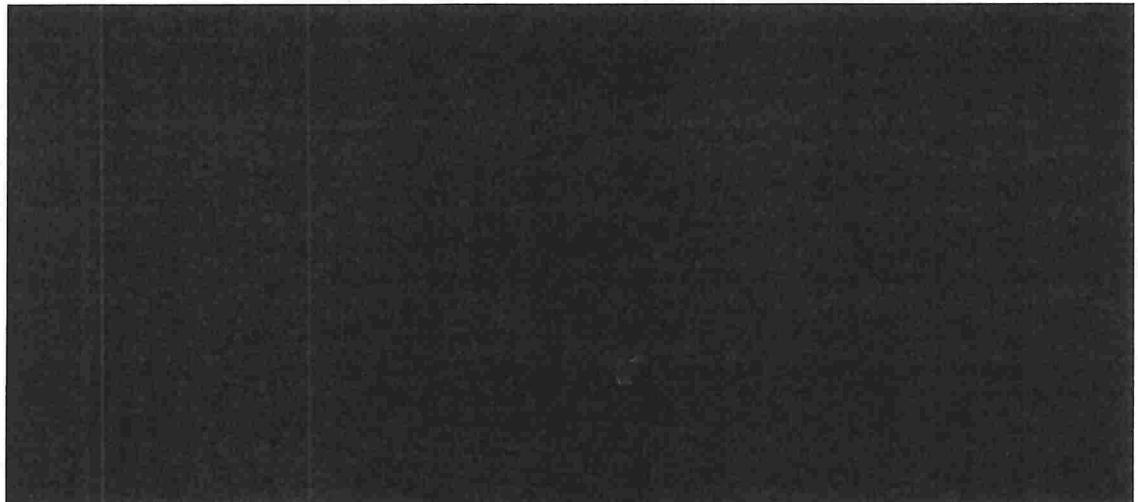
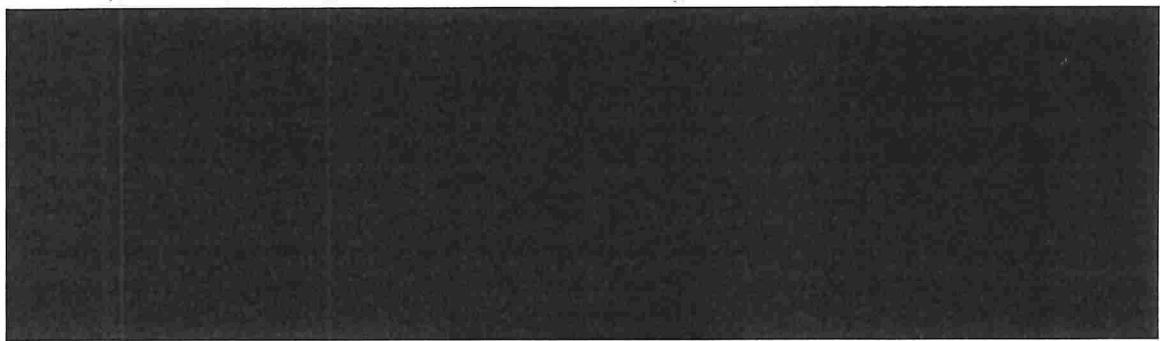


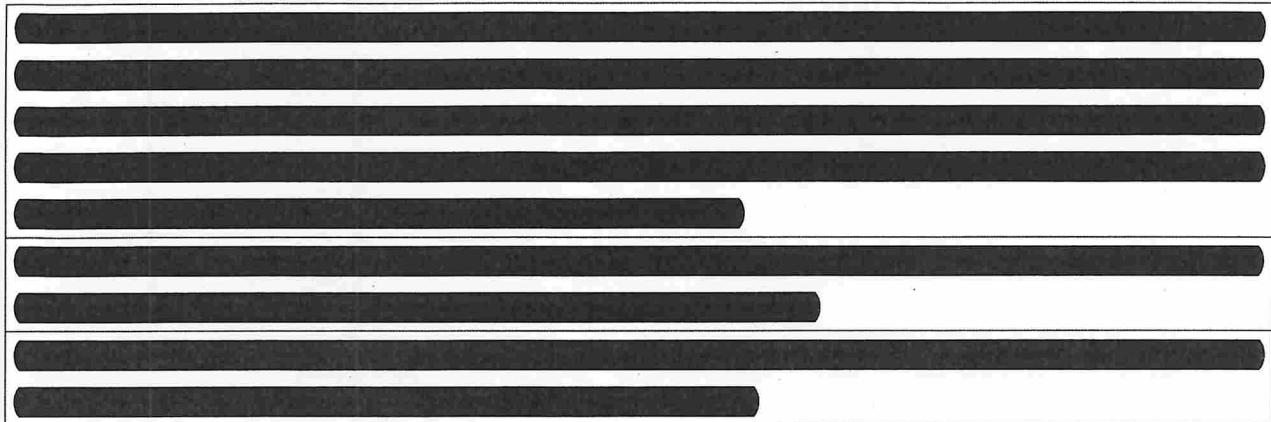


● ● ●

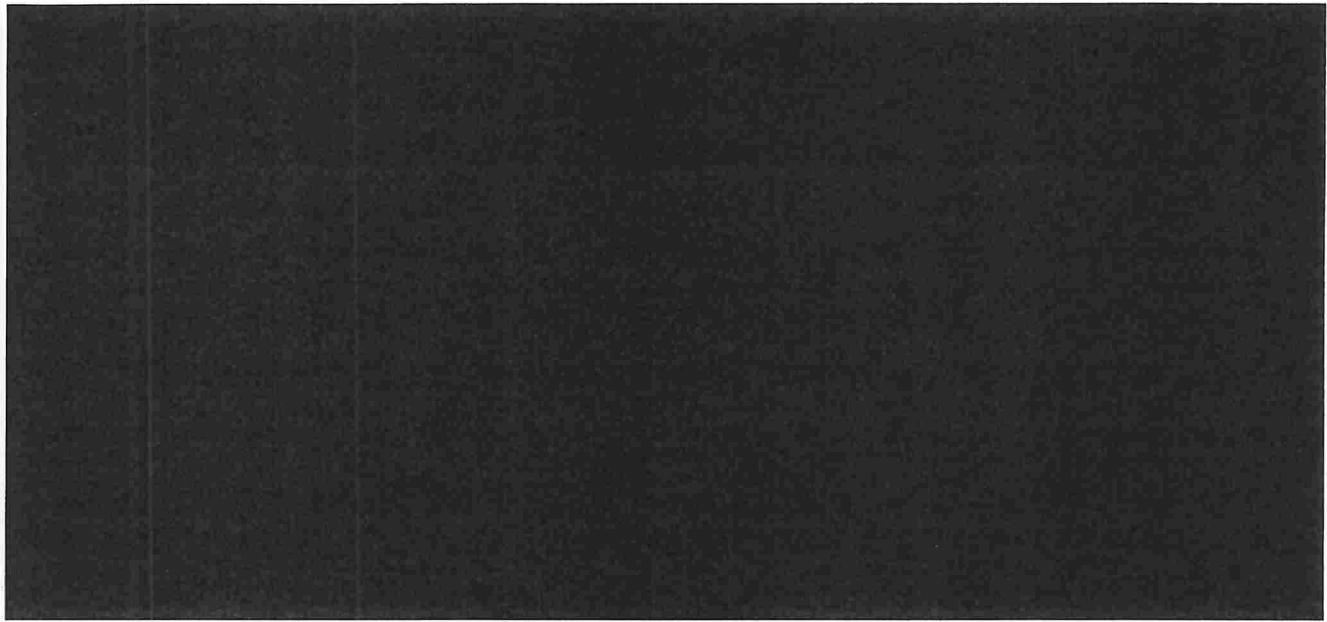


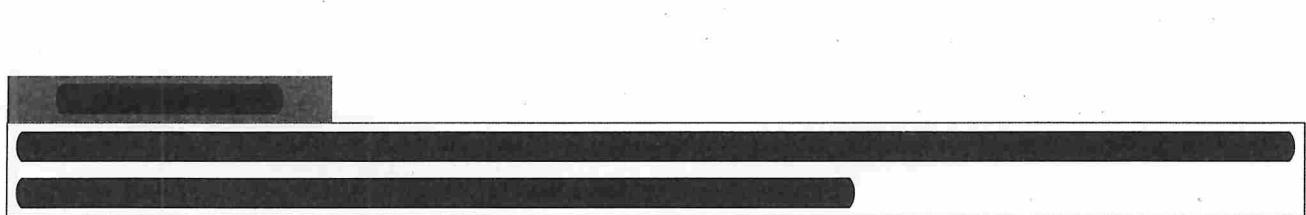
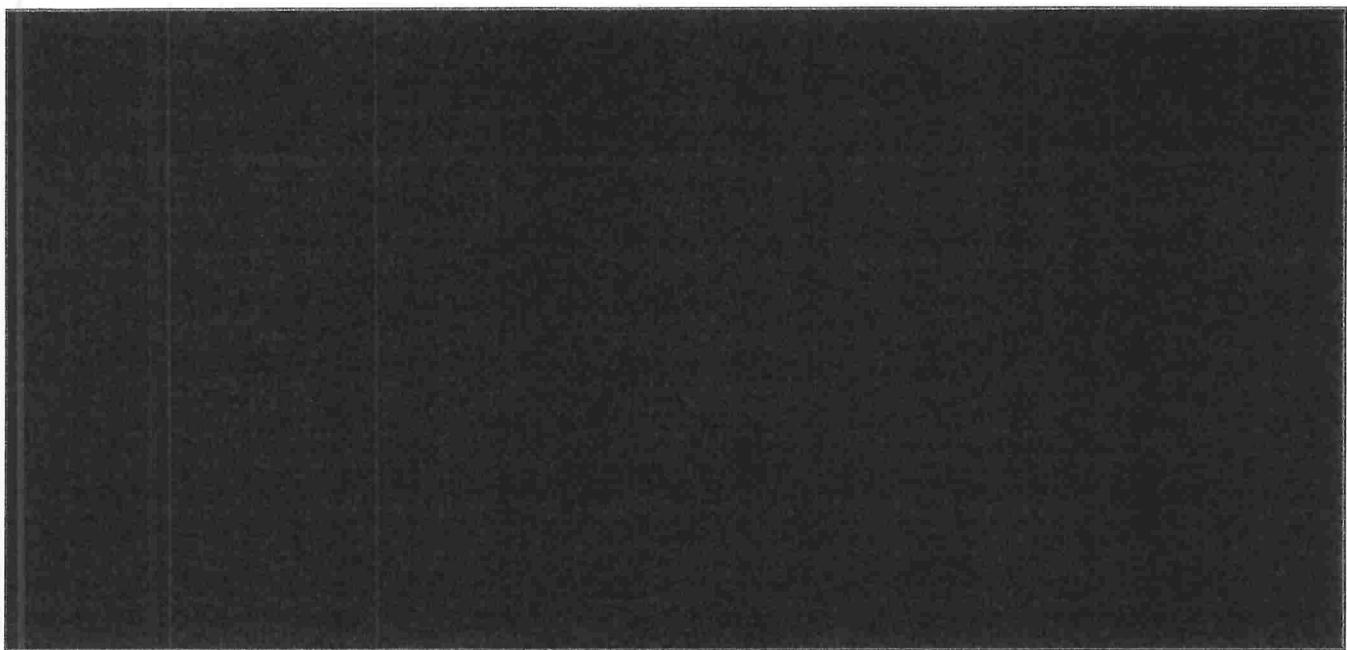
1-2 [] を入力する



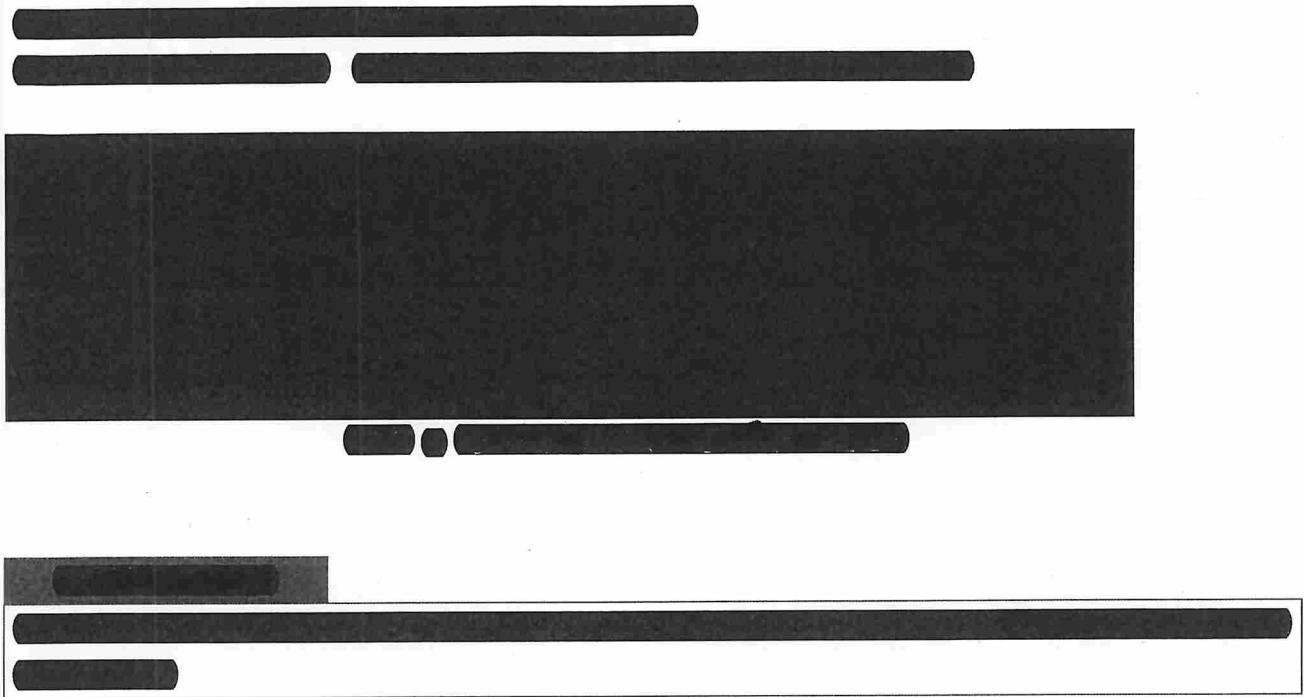


1-3 [] を入力する





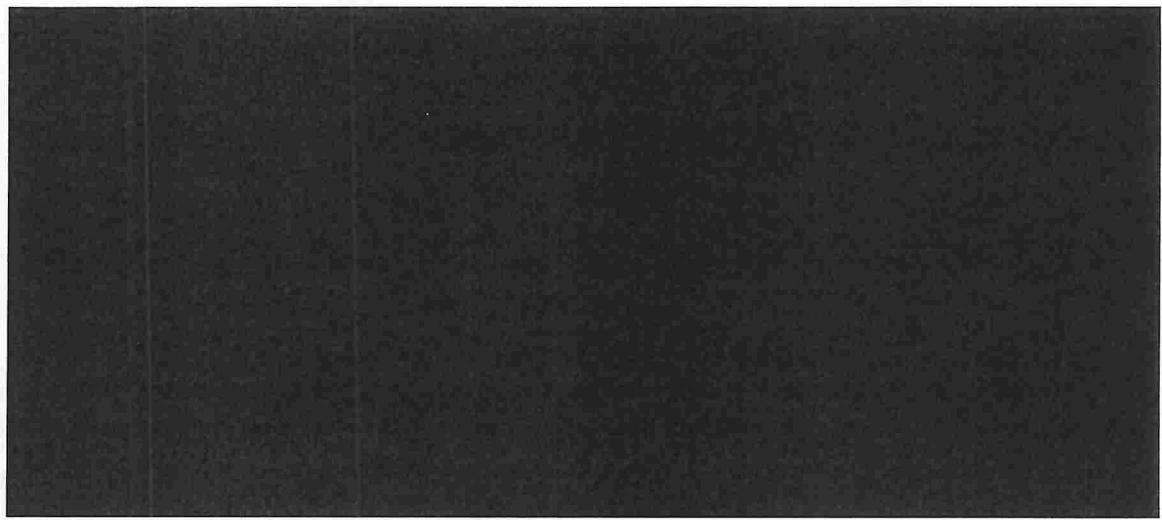
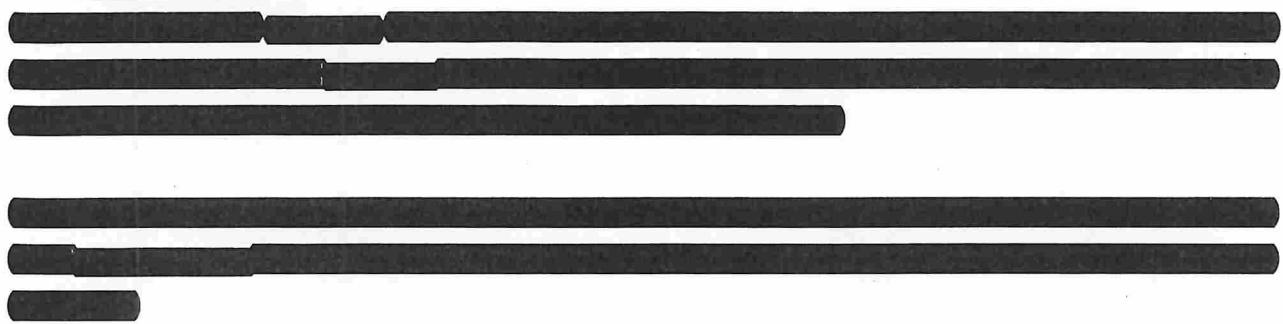
1-4 [] を入力する



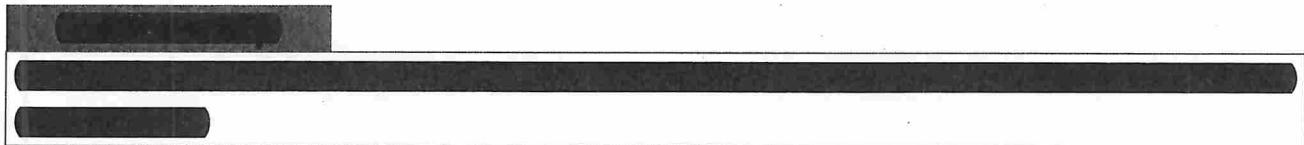
1-5 控訴事件等を

[REDACTED]

1 - 6

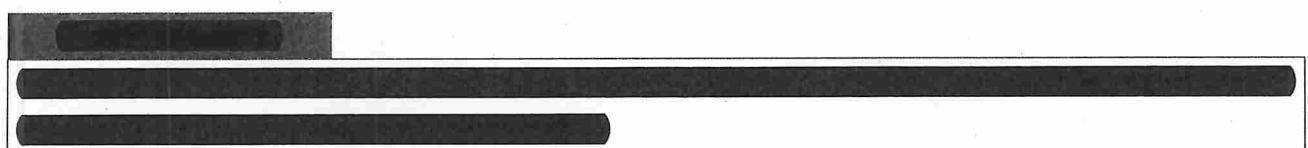
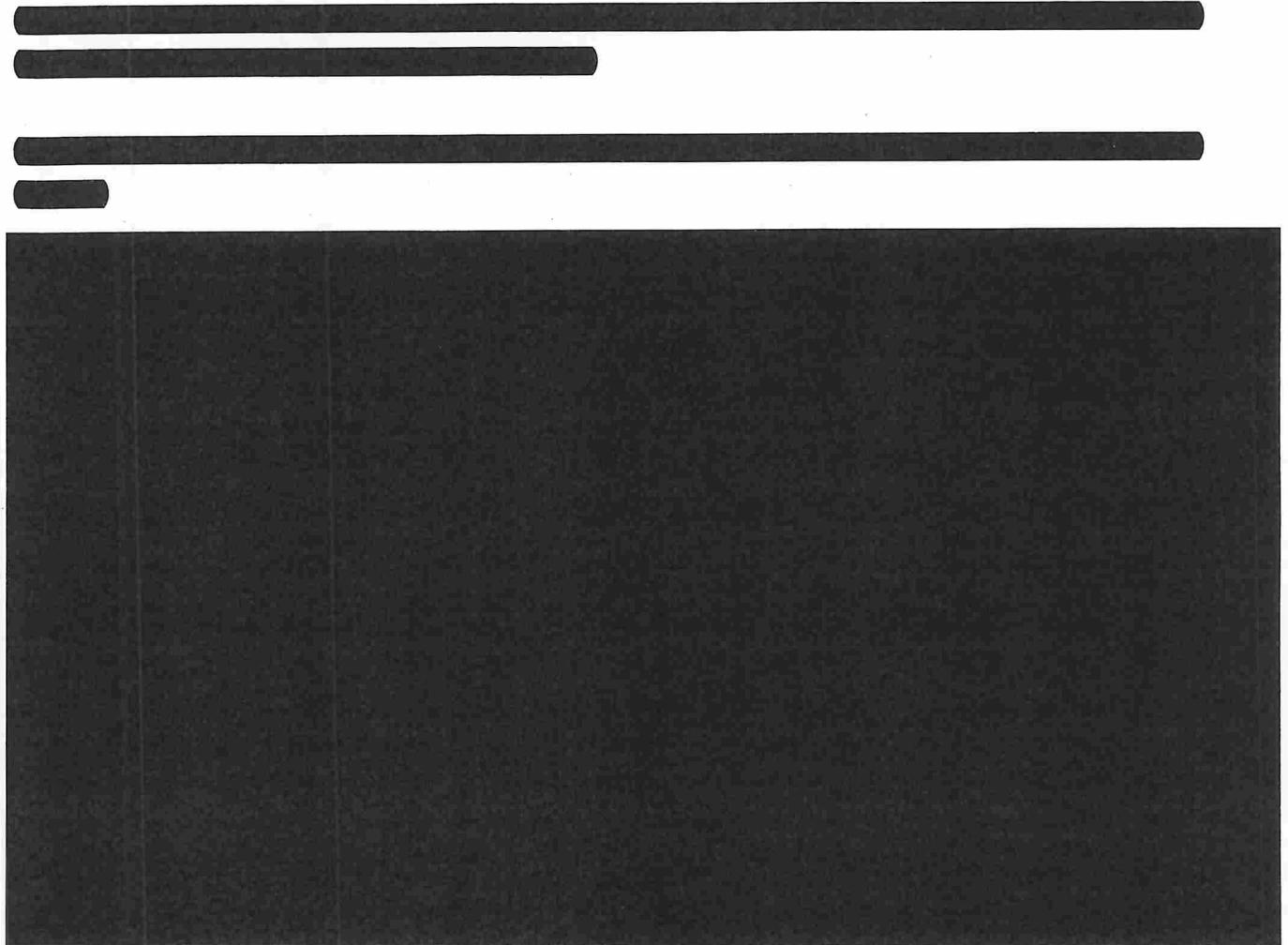


■ ■ ■



2 事件記録を他部署に引き継ぐ

2-1 他部署に引き継ぐ事件を



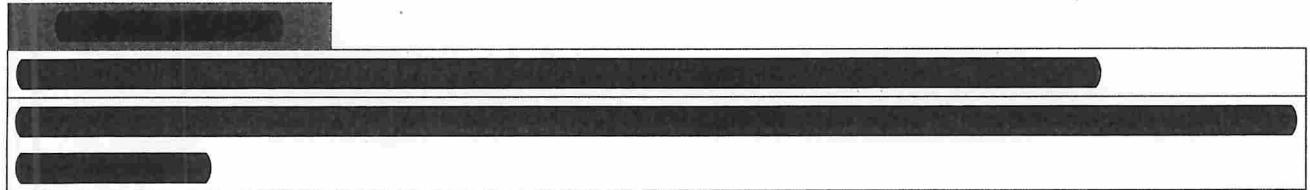
2-2



● ● ●



● ● ●



2-3 事件記録を他部署に引き継ぐ

